

土地・不動産に関するトピックス情報

● 住宅購入について「今が買い時」減少（野村不動産アーバンネット）

野村不動産アーバンネットの「住宅購入に関する意識調査アンケート（調査期間：7月20日～26日・調査対象：ノムコム会員）」によると、「買い時」と回答した人は41.1%となり、前回調査（2017年1月）から3.5ポイント減少した。一方、「買い時だと思わない」と回答した人は37.6%となり、前回調査から6.4ポイント増加した。買い時だと思わない理由については、「住宅ローンの金利が低水準」が最も多く70.7%、「今後、消費税の引き上げが予定されている」が43.0%、「今後、住宅ローンの金利が上がると思われる」が25.6%と続いた。

また、今後の不動産の価格については、「上がると思う」は22.9%となり前回比で0.3ポイント減少した。「横ばいで推移すると思う」は31.5%で前回比3.6ポイント減少、「下がると思う」が34.4%で前回比7.1ポイント増加した。

[第13回 住宅購入に関する意識調査アンケート：野村不動産アーバンネット](#)

● マンション購入意識「価格『高い』が3分の2超」（スタイルアクト）

スタイルアクトの「マンション購入に対する意識調査」によると、現在のマンション価格が「高い（購入を諦めるほど+ためらうほど）」との回答が67.6%となり、「高い」との回答は2015年7月以降、6割を超え続けている。特に東京23区において「高い」の回答が74.8%と、他のエリア（57.5%）との差が大きく、東京23区の価格に対する割高感が強い傾向にあることが判明した。また、「買い時ではない」との回答が46.7%と半数近くまで達した。

調査期間は7月1日～4日、調査対象は同社の運営するインターネットサイト「住まいサーフィン」の会員。

[第38回 マンション購入意識調査の公表（2017年8月）：スタイルアクト](#)

● 不動産テック特化の新メディア「SUMAVE(スマーブ)」を提供開始（リブセンス）

リブセンスは8月23日、不動産×テクノロジーの最新事例やニュースを発信する新メディア『SUMAVE(スマーブ)』の提供を開始しました。

「SUMAVE」は、不動産テックのオールジャンルを扱うニュースメディアサイト。最新情報をワンストップに提供し、ユーザーの効率的な情報収集を支援する。企業取材やオピニオンリーダーの情報発信などを通じ、国内外の最先端の事例・ニュースを紹介。日本での不動産テックサービス浸透と活性化を推進。また、同メディアは会員登録不要かつ全記事無料で閲覧可能。不動産テック情報を必要とする全てのユーザーに価値を提供する。

投資・管理・物件検索など様々な分野において、AI・ビッグデータ・IoT・VRなどのテクノロジーを活用した最新事例やニュースを発信し、不動産テックに取り組む企業への取材や、同分野に精通したオピニオンリーダーからの情報発信などを通じ、多角的で質の高い情報を提供する。

[ニュースリリース：リブセンス](#)